

案件7 レインボーバスの運行経緯と今後のあり方について

令和7年度 第6回
富田林市交通会議 資料7

目次

- ① レインボーバスの概要
- ② 運行見直しの背景とこれまでの経緯
- ③ 今後のあり方について

1 レインボーバスの概要

概要	市役所や市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして、富田林駅前～金剛連絡所間を運行。市民の移動手段を確保し、さらなる社会参加の促進を目指す。
運行日	年末年始を除く毎日
便数	1日7.5便(運行間隔1時間15分程度)
運賃	大人1回170円(小児90円) ※令和8年4月1日大人1回200円に運賃改定予定
停留所	12か所
運行事業者	近鉄バス株式会社
車両	日野自動車 ※ポンチョ(小型)令和元年7月から導入
台数	1台
利用実績 (6年度)	15,051人
市からの 補助金 (6年度)	7,758,156円



2 運行見直しの背景とこれまでの経緯

令和2年	10月	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局より地域連携サポートプラン提案書交付
	11月	レインボーバスのあり方検討分科会の設置
令和3年～ 令和4年	12月～ 8月	第1回～第3回レインボーバスのあり方検討分科会の開催
令和5年	9月1日	運行の見直しを実施
	9月11日	金剛自動車株式会社が、路線バス事業廃止の公表をする。
	10月～ 11月	金剛バス東条線の通学の需要に対応し、甘南備地区への運行を確保する緊急措置としてレインボーバスを一部運休し、東条線の補完運行に充てること为本市交通会議で承認する。
	12月21日	金剛ふるさとバス東条線への補完運行として活用するため、レインボーバスは3便に減便となる。
令和7年	8月20日	富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会にて、令和7年12月20日をもって、金剛ふるさとバス東条線におけるレインボーバスの補完運行終了を承認される。
	10月2日	本市交通会議で、令和7年12月21日より、7.5便(最終便のみ金剛連絡所前止め)とし、令和8年4月1日より、運賃を路線バス初乗り運賃と同等の金額である大人1回200円の運賃改定について承認される。
	12月21日	レインボーバスが新ダイヤで運行を開始する。

2 運行見直しの背景とこれまでの経緯

■ 地域連携サポートプランに基づく検討の開始



近畿運輸局との「地域連携サポートプラン」協定に基づく「提案書」において、「レインボーバスについて、既存路線バスと重複するルートの見直しや、路線バスと重複する区間は運賃の統一化を図る等、既存路線バスに影響を与えないよう見直しを検討する。」と提案があった。



地域連携サポートプラン提案書に基づき「レインボーバスのあり方検討分科会」を設置、既存路線バスとの重複ルート見直しや運賃統一等運行内容について協議を行った。

2 運行見直しの背景とこれまでの経緯

■ 令和4年度第3回の交通会議にて具申

市民委員及び路線バス事業者等で構成する「レインボーバスのあり方検討分科会」において検討を行い、以下の「3つの案」を取りまとめた。

- ① 現在のレインボーバスを廃止し、路線バス乗継割引の実施
- ② 現在のレインボーバスの運行を廃止し、レインボーバス(活用した財源を含む)を交通不便地域対策に活用
- ③ 現行ルート of 縮小及び運賃の値上げ

このうち、利用者への影響が大きい①・②案を踏まえ、まずは③案に基づき、路線バスとの輻輳区間の解消及び運賃の見直しを行うことが具申され、令和4年度第6回交通会議において運行内容の見直しが決定された。

今後は、見直し後の利用状況等を踏まえ、引き続き交通会議において検討を行うことになった。

2 運行見直しの背景とこれまでの経緯

■ 令和5年9月1日より、以下のとおり運行内容の見直しを行った。

- ルートを見直し、「けあばる」「富田林病院前」の各停留所を廃止し、各便の所要時間を短縮。
- 便数を8便から、平日は9便、土・休日は7便とし、最終時間を繰り上げ。
- 運賃を現行の100円から、路線バス初乗り運賃と同等の170円に改定。



レインボーバス 新ルート(令和5年9月1日)

しかし、令和5年12月21日より、金剛ふるさとバス東条線の補完運行のため、3便に減便したダイヤとなる。

2 運行見直しの背景とこれまでの経緯

便数を現行の3便から、令和7年12月21日より、7.5便(最終便のみ金剛連絡所前止め)とし、令和8年4月1日から、運賃は、路線バス初乗り運賃と同等の金額である大人1回200円に改定することが承認された。

	令和5年12月20日以前	令和5年12月21日～ 令和7年12月20日	令和7年12月21日以降
所要時間 ※1	58分	同左	同左
始発便 ※2	8:00 (9:15)	9:30	8時30分
最終便 ※2	18:10(16:55)	13:00	17時50分
便数 ※3	平日9便 土・休日7便	平日・土・休日ともに3便	平日・土・休日とも7.5便 (最終便のみ金剛連絡所前止め)
運行間隔	1時間15分程度	1時間30分～2時間程度	1時間15分程度
運賃 ※4	170円(90円)	同左	同左 ※令和8年4月1日より、 200円(100円)に改定

※1:各路線の往復の所要時間 ※2:富田林駅前の発車時刻・()は土・休日 ※3:年未年始は除く
※4()は小児運賃

3 今後のあり方について

- 令和7年12月20日をもって金剛ふるさとバス東条線の補完運行が終了し、12月21日から8時台から17時台の7.5便で運行となった。
- 昨今の状況として、燃料費や人件費の上昇等により、運行経費が高騰していることに加え、乗務員不足の問題が生じていることから、これらを踏まえた検討も必要である。
- 今後は、これらを踏まえ、利用実績や利用者動向を確認しながら、レインボーバスのあり方を検討する「レインボーバスのあり方検討分科会」を開催し、レインボーバスの今後のあり方について再度検討を行う予定である。

